2026 年 11 月 05 日
南海放送株式会社

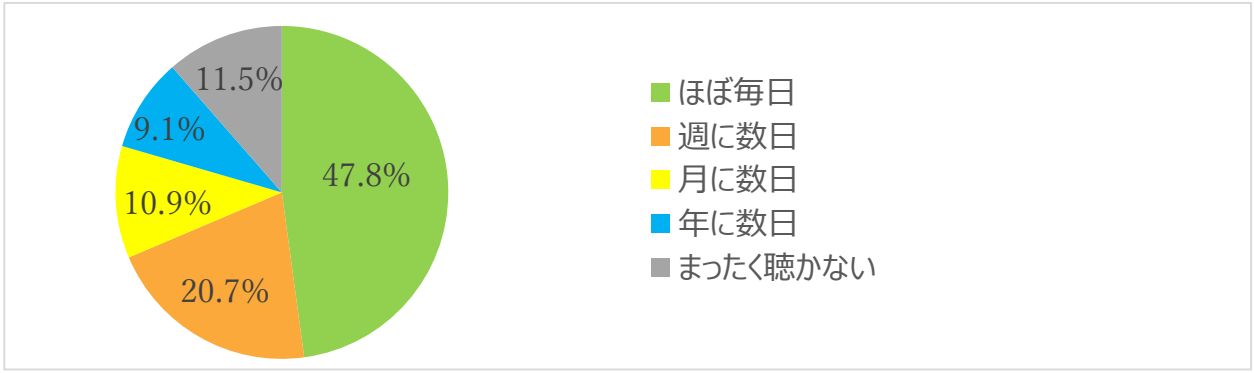
AM 局の運用休止に関する報告

南海放送では、総務省が実施する「AM 局の運用休止に係る特例措置」に参加し、2025 年 12 月 1 日から AM 大洲局および AM 御荘局、2026 年 2 月 10 日から AM 松山局の運用をそれぞれ休止し、2026 年 9 月 30 日まで運用休止を実施しましたので、その調査結果について報告します。

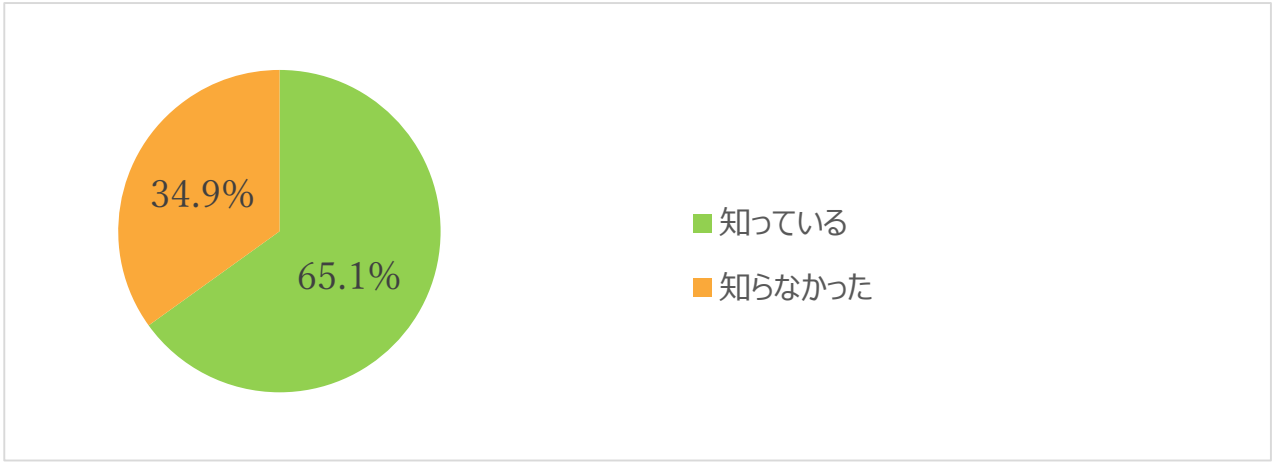
運用休止期間中、ラジオやテレビ、新聞、SNS、自治体広報誌、チラシ、ポスターなどさまざまな媒体を活用し周知広報に努めるとともに、リスナーからの問合せに対しては専用の電話番号を設け、メール（ホームページの問合せフォーム）からの問合せに対応してきました。なお、現在、特例適用局 6 局については、運用休止期間を延長しており、AM 新居浜局、AM 宇和島局、AM 八幡浜局、AM 大洲局および AM 御荘局の 5 局は 2027 年 3 月 31 日まで、AM 松山局は 2028 年 10 月 31 日まで運用休止を延長しています。

【調査概要】
特例適用局の放送区域内にお住まいの方を対象にアンケートを実施しました。
実施方法：　南海放送アプリ、ホームページ、対面によるアンケート調査を実施
実施期間：　2025 年 2 月 1 日～2026 年 9 月 30 日
回 答 数：　８８２件

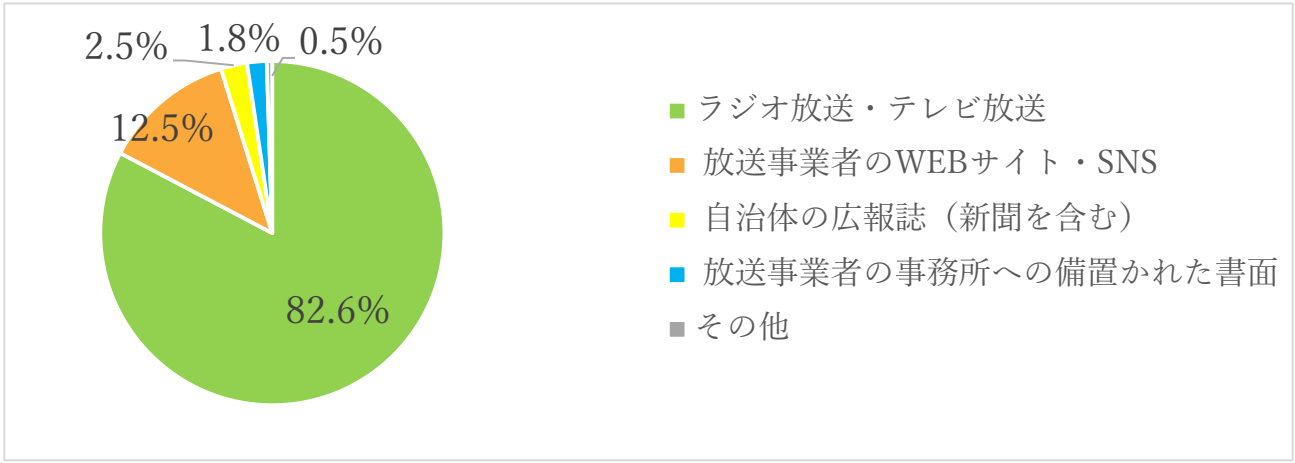
■ AM ラジオ放送を聴く頻度をお知らせください。（N=882）



■ AM 局が運用休止したことについて知っていますか。（N=882）



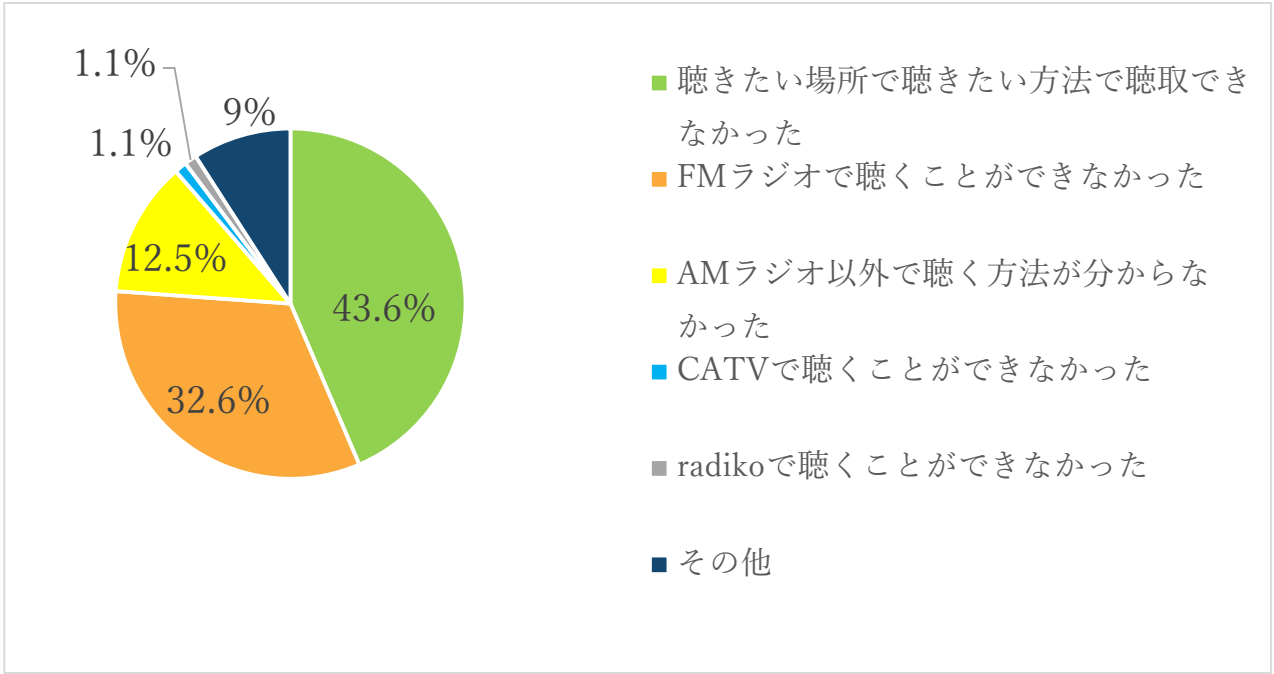
■ AM局の運用休止を知るきっかけとなった情報源についてすべてお知らせください。（N=650）



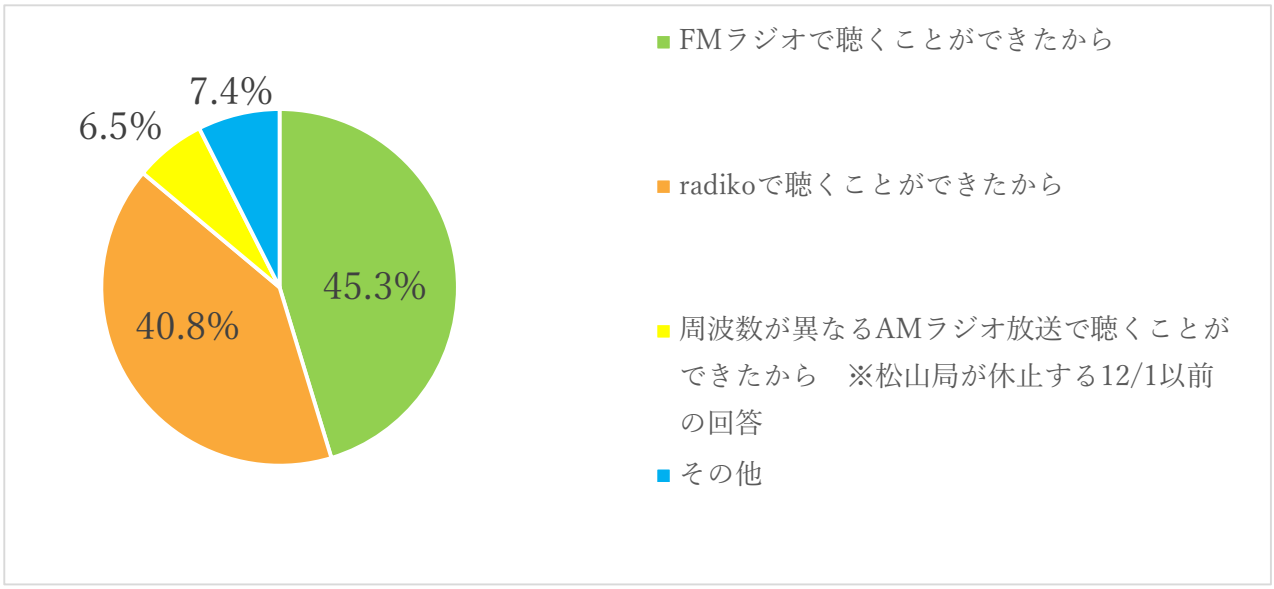
■ AM局の運用休止を行ったことにより、不便はありましたか。（N=574）



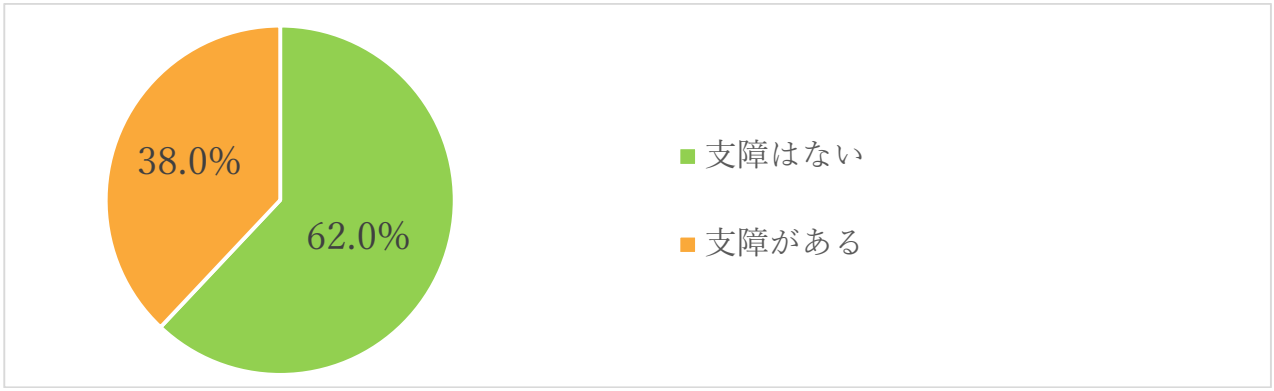
■ 不便があった内容をお知らせください。（N=264）



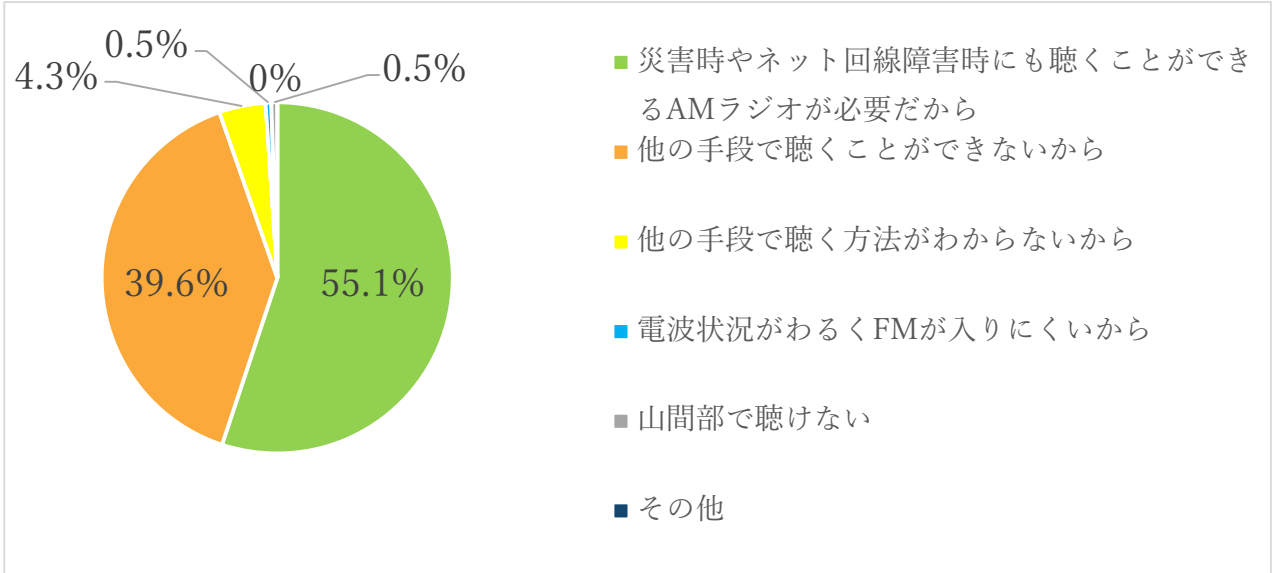
■ 不便がなかった理由をお知らせください。（N=309）



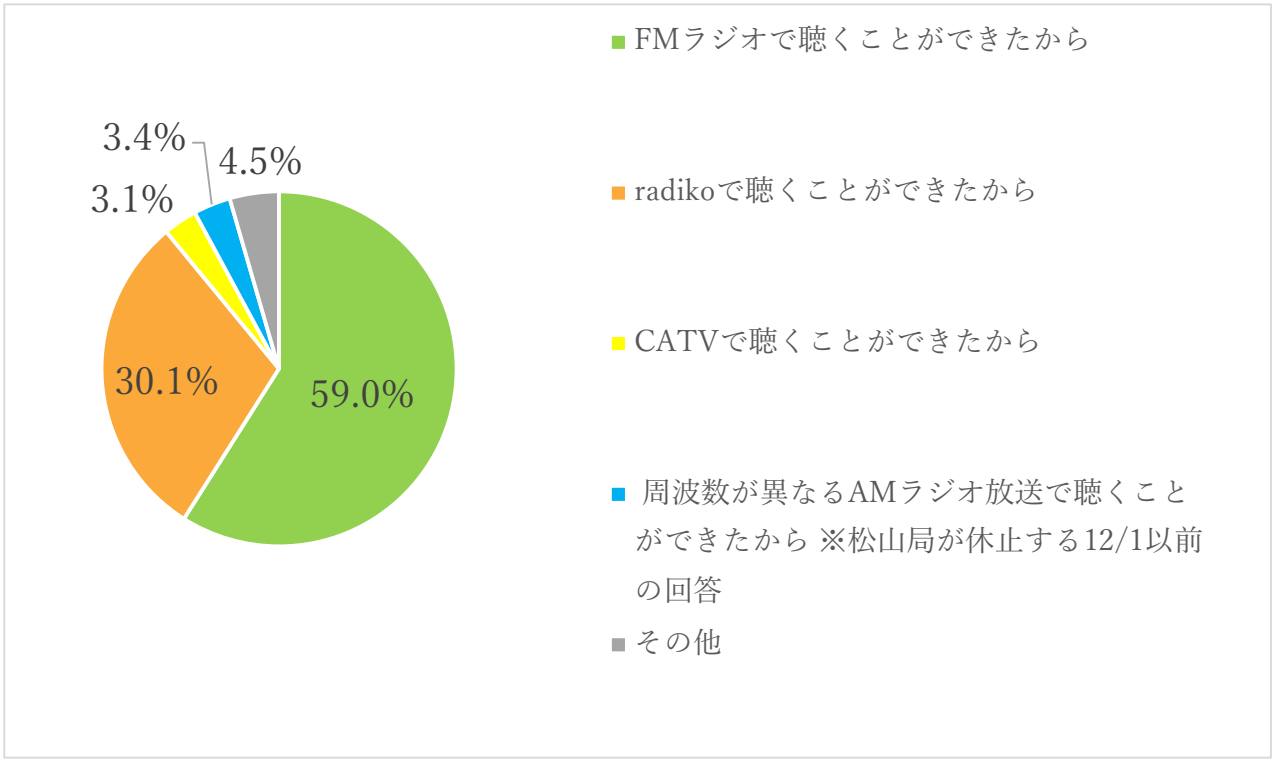
■ 運用休止を行った AM 局について、このまま休止を継続した場合支障はありますか。（N=574）



■ 支障がある理由をすべてお知らせください。（N=187）



■ 支障がない理由を教えてください。（N=356）



アンケート結果より、AM 局の運用休止について約 65%の方に認知されていました。運用休止を知るきっかけは、ラジオとテレビが最も多く約 83%でした。このことから、情報発信としてのラジオとテレビの媒体価値は高く、周知広報の手段としては有効なものでした。

また、これまで聴けていたラジオで聴けなくなった不便や支障があったとする理由をふまえて、ワイド FM 対応ラジオや radiko、第二ワンセグへの聴取環境の切替を丁寧に、そしてこれまで以上に周知してまいります。さらに、昨今、各地で頻発している水災害などにおいては、AM より FM 送信設備のほうが災害に強いということなども分かりやすく説明し、FM 転換へのご理解を求めていきます。あわせて、災害などに備えて非常用持ち出し袋にある AM ラジオをワイド FM 対応ラジオへ交換していただくよう呼び掛けていきます。

弊社は、安定した放送を実現するためにも、2028 年秋までに AM から FM への転換を目指しております。みなさまのご理解をよろしくお願いいたします。